

人物の心情や場面の描写をとらえる

1 指導のねらい

- (1) 物語の重要な要素である「登場人物」「時節」「場所」をつかむことができる。
- (2) 場面についての描写の叙述に関連づけて、登場人物の状況を読み取ることができる。
- (3) 作品のよさや特徴を見付けることができる。

2 指導過程

学習活動と発問 (発は発問)	指導上の留意点と評価 (評は評価)
<p>(1) 本時のねらいを確かめる。</p> <p>(2) 資料1「てぶくろを買いに」を音読する。</p> <p>(3) 物語の「登場人物」「時節」「場所」をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>発 上野さんはこの場面のメモを作りました。登場人物、季節、天気、場所を考えてみましょう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・「ごんぎつね」学習後であれば、読後の感想を交流し合ってもよい。 ・資料の配付 ・本文中の叙述に線を引き、確かめさせる。特に天気については直接的な表現はないので、本文の描写から導きたい。 →「お陽さまがキラキラととらしていた」「雪はまぶしいほどはんしゃしていた」「小さいにじが」など 評 本文の叙述に基づいて場面メモを作成しているか。
<p>(4) 登場人物の状況を、場面の叙述を手がかりに正確に読み取る。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>発 友だちから「なぜ、こどものきつねは眼に何かささったと思ったの？」という質問が出ました。あなたが上野さんだったらどう答えますか。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・(4)(5)は学習プリント(別紙)を用いる。 ・<u>きつねの体験と実際の情景</u>とから答えさせる。 →<u>雪を知らなかったこどものきつねが、お陽さまから雪へのあまりに強い反射を自分の目に受けたから。</u> 評 本文の叙述に基づいて考えられたか。
<p>(5) 作品を評価する。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>発 上野さんたち4人はこの作品について話し合いました。【作品交流会】を読んで、これでいいか確かめましょう。</p> <p>発 あなただったらこの作品のよさや特徴についてどんな発言をしますか。グループで簡単な話し合いをしましょう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・4人程度のグループで考えを交流する。 ・よい意見と問題のある意見はどの部分がそうなのか指摘させる。 評 理由をはっきりさせて話し合っているか。 評 積極的に話し合いに参加しているか。

【資料1】 「つぶきを買い」の書き出し部分

上野さん 「わたしは新美南吉さんの『きんぎつね』が大好き。だから、今度のろうどく会に、同じ作者が書いた

『てぶくろを買いに』を読むことにしたの。」

寒い冬が北方から、きつねの親子のすんでいる森へもやって来ました。

ある朝、ほらあなから子どものきつねが出ようとなりましたが、

「あつ。」とさけんで眼をおさえながら母さんぎつねのところへころげて来ました。

「母ちゃん、眼に何かささった、ぬいてちょうだい早く早く。」と言いました。

母さんぎつねがびっくりして、あわてふためきながら、眼をおさえている子どもの手をおそろおそろとりのけて見ましたが、何もささってはいませんでした。母さんぎつねは、ほらあなの入口から外へ出てはじめてわけがわかりました。昨夜のうちに、真白な雪がどっさりふったのです。その雪の上からお陽さまがキラキラとてらしていたので、雪はまぶしいほどはんしゃしていたのです。雪を知らなかった子どものきつねは、あまり強いはんしゃをうけたので、眼に何かささったと思ったのでした。子どものきつねは遊びに行きました。まわたのようにやわらかい雪の上をかけまわると、雪の粉が、しぶきのように飛び散って小さいにじがすつとうつるのです。

学習プリント

【上野さんの場面メモ】

- ・登場人物
- ・季節
- ・天気
- ・場所

吉田さん 「ねえ、なぜ、子どものきつねは『眼に何かささった』

なんて思ったの？」

上野さん 「それはね、

」。

組 番 氏名

【作品交流会】

吉田 「この作品は、きびしい冬の野原で
きつねの親子が春を待っているお
話だね。」

北島 「雪の様子や特ちようが、たとえを
もちいてくわしくえがかれている
ね。目に浮かんでくるようだよ。」

谷本 「ここまでの子どものきつねと母さ
んぎつねとの会話や行動から、心温
まる交流が行われる話だと予想で
きるなあ。」

太田 「きつねは人をだますと言うけれ
ど、この作品の子ぎつねは、甘えん
坊でおとなしいきつねとしてえが
かれているね。」

上野さんの学級では、読んだ本のろうどく会をすることになりました。新美南吉の「ごんぎつね」に感動した上野さんは、同じ作者の「てぶくろを買いに」を読むことにしました。次は、その作品の書き出しの部分です。よく読んで、あとの問いに答えましょう。

寒い冬が北方から、きつねの親子のすんでいる森へもやって来ました。
ある朝、ほらあなから子どものきつねが出ようと思いました、

「あつ。」とさけんで眼をおさえながら母さんぎつねのところへころげて来ました。

「母ちゃん、眼に何かささった、ぬいてちょうだい早く早く。」と言いま

母さんぎつねがびっくりして、あわてふためきながら、眼をおさえている子どもの手をおそろおそろのけて見ましたが、何もささってはいま

せんでした。母さんぎつねは、ほらあなの入口から外へ出てはじめてわけがわかりました。昨夜のうちに、真白な雪がどつきりふったのです。その雪の上からお陽さまがキラキラとらしていたので、雪はまぶしいほどはんしゃしていたのです。雪を知らなかった子どものきつねは、あまり強いはんしゃをうけたので、眼に何かささったと思ったのでした。子どものきつねは遊びに行きました。まわたのようにやわらかい雪の上をかけまわると、雪の粉が、しぶきのように飛び散って小さいにじがすつとうつるのでした。

一 上野さんは、作品のこの場面について次のメモにまとめました。ア～エにあてはまる言葉を本文中からぬき出して書きましょう。

・登場人物 (ア) と (イ) ・季節 (ウ) ・場所 (エ) 森

二 (1) この場面の天気は何でしょう。一語の漢字で答えましょう。

(2) また、文章中のどの言葉からそれがわかりますか。文章中から二つ見つけて、その言葉をぬき出しましょう。

三 ろうどくを聞いた友だちから、「なぜ、子どものきつねは『眼に何かささった。』と思ったのですか」という質問が出ました。あなたが上野さんだったら、どう答えますか。本文中の言葉を使って書きましょう。

四 ろうどくが終わった後、この作品の良さや特ちょうについて話しました。ふさわしいものをすべて選び、記号で答えましょう。

ア この作品は、きびしい冬の野原で、きつねの親子が春を待っているお話だね。

イ 雪の様子や特ちょうが、たとえをもちいてくわしくえがかれているね。目に浮かんでくるようだよ。

ウ ここまでの子どものきつねと母さんぎつねとの会話や行動から、心温まる交流が行われる話だと予想できるなあ。

エ きつねは人をだますと言うけれど、この作品の子ぎつねは甘えん坊でおとなしいきつねとしてえがかれているね。

◎ 出題のねらい

- ・場面についての描写を取り出すことができるかどうかをみる。
- ・場面についての描写を叙述と関連付けて読むことができるかどうかをみる。
- ・作品の内容や表現上の特徴をとらえることができるかどうかをみる。

【解答例】

一 ア 子どものきつね イ 母さんぎつね (ア、イは順不同) ウ 冬 (または 寒い冬) エ きつねの親子のすんでいる

二 (1) 晴

(2) 「お陽さまがキラキラととらしてた」 「雪はまぶしいほどはんしゃしていた」
「小さいじ (がすつとうつる)」の中から 二つ書き抜く。

三 【例1】 子どものきつねは雪を知らなかったので、お陽様が真白な雪にはんしゃしてとてもまぶしかつたのを、じぶんの目に何か刺さつたのかと

かんちがいしたんだよ。 〈線部の理由 (子ぎつねの体験) + 事実 (実際の情景) が書いていて正解〉

【例2】 雪を知らなかった子どものきつねが、お陽さまから雪へのあまりに強いはんしゃをじぶんの目に受けたので。

↓本文の書き抜き「雪を知らなかった子どものきつねは、あまりに強いはんしゃをうけたので。」とした児童には、
「は」↓「が」であること、「あまりに強いはんしゃ」とは何かを考えさせる。

四 イ、ウ

○ 考え方 ↓ 傍線部は誤りまたは根拠なし

ア この作品は、きびしい冬の野原で、きつねの親子が春を待っているお話だね。

イ 雪の様子や特ちょうがたとえをもちいてくわしくえがかれているね。目に浮かんでくるようだよ。

ウ ここまでの子どものきつねと母さんぎつねとの会話や行動から、心温まる交流が行われる話だと予想できるなあ。

エ きつねは人をだますと言うけれど、この作品の子ぎつねは甘えん坊でおとなしいきつねとしてえがかれているね。